

第 32 回 市民動物園会議

平成 29 年 6 月 5 日 (月)
13 : 30 から
円山動物園プラザ

< 次 第 >

- 1 円山動物園の不適正な契約事務について
- 2 ポスト「円山動物園基本構想」の策定について
- 3 平成 28 年度来園者状況及び平成 29 年度予算について
- 4 「マレーグマ『ウッチー』の死亡事案に係る改善計画（中期的課題）」に対する提言書の検討進捗状況について～「人材確保・育成のあり方」
- 5 新着動物等について
- 6 その他

【配布資料】

- 資料 1-1 円山動物園の不適正な契約事務について
- 資料 1-2 元職員の官製談合防止法違反に係る再発防止策
- 資料 2 ポスト「円山動物園基本構想」の策定について
- 資料 3-1 年度別来園者状況
- 資料 3-2 平成 29 年度予算概要
- 資料 4 「マレーグマ『ウッチー』の死亡事案に係る改善計画（中期的課題）」に対する提言書の検討進捗状況について
- 資料 5 新着・出産・転出等動物

第 32 回市民動物園会議名簿

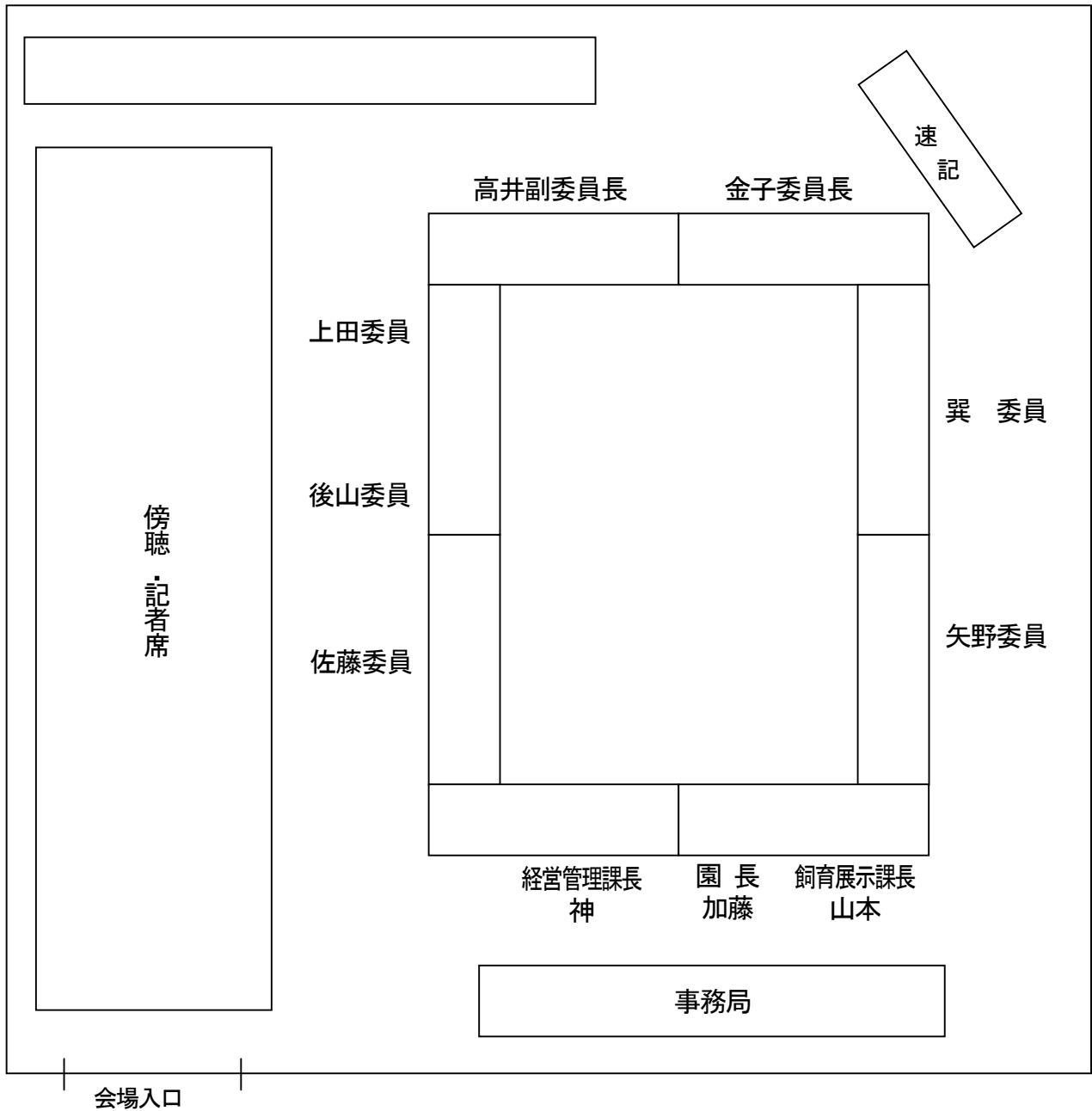
氏 名	職業（役職）
金子 正美	酪農学園大学農食環境学群環境共生学類教授（委員長）
高井 哲彦	北海道大学大学院経済学研究院准教授（副委員長）
上田 得一	公募委員
後山 直久	株式会社 テレビ北海道 事業部部長
佐藤 香	公募委員
高山 裕史	札幌商工会議所観光部会部会長 株式会社 さっぽろテレビ塔 代表取締役社長
巽 佳子	公募委員
中山 法子	株式会社 BeggarSwindle 社員
八木 由起子	株式会社 えんれいしゃ/北海道生活 編集長
矢野 信一	円山西町町内会会長

※グレースケールは欠席委員。

※五十音順

■第32回 市民動物園会議 座席表

平成29年6月5日(月) 13:30~ 動物園プラザ



円山動物園の不適正な契約事務について

1 事案の概要

(1) 円山動物園モンキーハウス金具取付・修繕業務(平成26年度)

モンキーハウス及びサル山の工事を連動して行うスケジュールの中、先行するモンキーハウスのしゅん工後に、修繕箇所が複数発生した。当該修繕を緊急に行わなければ、後に続くサル山工事に向けた動物の移動スケジュール及び安全に大幅な支障が出てしまうという状況に至った。

この業務について、担当することとなった職員は、特定の1社でなければ期限内に業務を完了することができないと考え、実質的には緊急による特定随意契約で業務を進めたにも関わらず、書類上は指名競争入札の形を整えておくしかないと誤認し、当該社の社員に依頼して契約関係書類を整えた。

(2) 円山動物園アフリカゾーン動物柵ほか設置業務(平成27年度)

アフリカゾーンのオープン日がずれこみ、集客のためにもこれ以上遅れることはできないという園の方針の中で、平成27年6月、当該施設の一部補修を行う必要性が生じた。しかし、緊急に着手しなければオープンに向けた動物の移動スケジュールに間に合わず、さらなる遅れが発生すること、また、この履行期間では特定の1社でなければ完了することができないと考えた職員は、実質的には緊急による特定随意契約で業務を進めていたにも関わらず、書類上は指名競争入札の形を整えておくしかないと誤認し、当該社の社員に依頼して契約関係書類を整えた。

2 被処分者

案件	当時の職位	年代	処分内容
アフリカゾーン	一般職	40歳代	減給4月
	係長職	50歳代	減給4月
	課長職	60歳代	減給1月
モンキーハウス	係長職	30歳代	減給2月
	課長職	50歳代	戒告
	課長職	50歳代	文書厳重注意
両者	部長職	50歳代	減給1月

3 処分日

平成29年2月13日(月)

不適正な契約事務に係る再発防止策

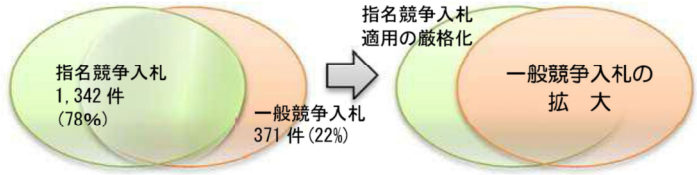
- 【事件から明らかになった問題点（主なもの）】**
- 安易な指名競争入札の選択と指名選考委員会の形骸化
 - 入札情報の守秘管理の不徹底と情報公開の重要性の認識不足
 - 職員の法令遵守意識の欠如と管理職のチェック不足



- 【再発防止に向けたポイント】**
- 入札契約制度の見直し
 - 入札契約情報の管理強化と公開の徹底
 - 職員の法令遵守意識の徹底

➢ 入札契約制度の見直し

- ◎ 役務契約における一般競争入札の拡大
- ◆ 指名競争入札の適用を厳格化することで、一般競争入札を拡大



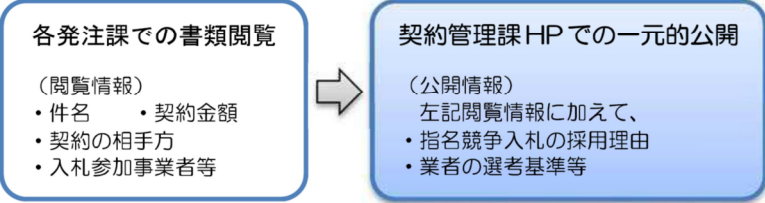
※件数はH27年度入札結果情報による（各企業局を除く役務調達）

『役務契約』とは・・・請負や委任又はその複合した内容の契約であり、建物の清掃・警備や施設の保守・修繕、業務の運営管理、システム開発、調査研究等多岐に渡る。

- 一般競争入札の拡大に向けた取組
 - ・ 財政局契約管理課において、入札情報の全庁的な集約と一元公開を進め、アクセスを容易にすることにより、事業者に広く参入を促す。
- 指名競争入札の適用の厳格化に向けた取組
 - ・ 新たに指名選考委員会の運営ガイドラインを策定し、判断基準の統一や審議過程の透明化を図る。
 - ・ 指名競争入札の採用理由及び業者の選考基準の審議を徹底のうえ、公表を義務付ける。

➢ 入札契約情報の管理強化と公開の徹底

- ◎ 入札執行後の情報公開の徹底
- ◆ 詳細な入札契約情報についてホームページでの公開を実施



- ◎ 入札執行前の情報管理の強化
- ◆ 決裁書類等の管理方法や電子データのパスワード設定など、セキュリティ対策等について、研修等での周知徹底

➢ 職員の法令遵守意識の徹底

- ◎ コンプライアンス研修の充実強化
- ◆ 公正取引委員会から講師を招く等、コンプライアンス研修を充実強化
- ◎ リスクマネジメント研修の新規実施
- ◆ 役職者を対象に、新たに入札契約事務のリスク管理研修を実施

《再発防止策の実効性の確保に向けた取組》

- ・ 再発防止策に係る入札契約事務研修の反復的な実施
- ・ 匿名による通報を可とするなど、公益通報制度の対象拡大
- ・ 再発防止策の実施状況確認のため、定期内部監査でチェック
- ・ 契約管理課による運用状況の確認と継続的なフォローアップ

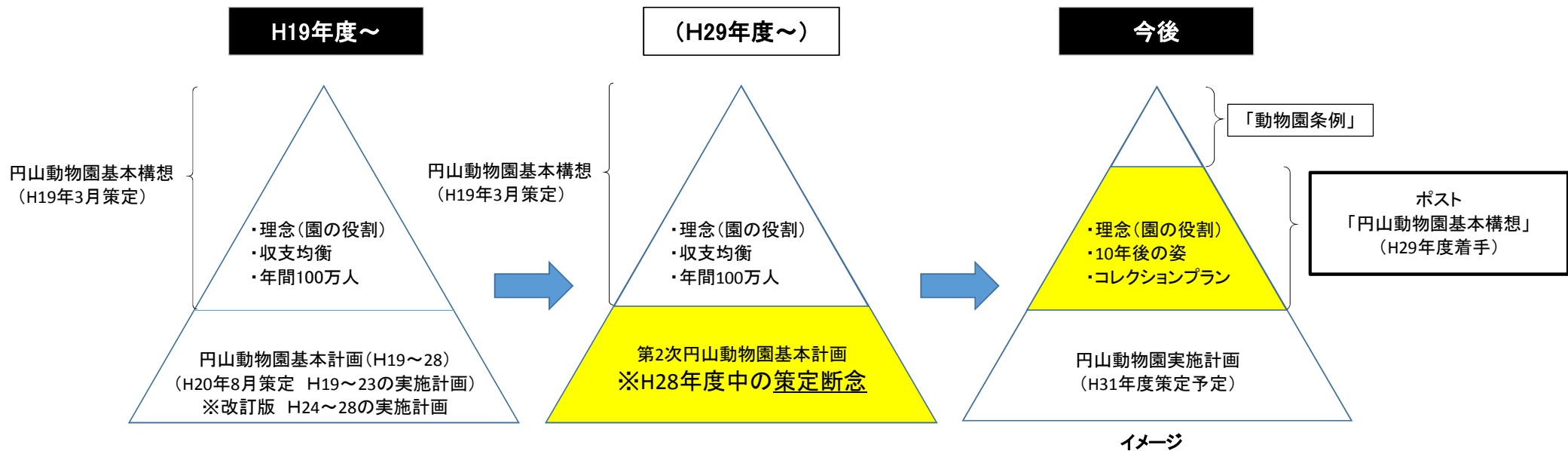
ポスト「円山動物園基本構想」の策定について

①動物園を取り巻く環境の変化

- ・種の保存、動物の福祉・愛護に配慮した、より質の高い施設整備
- ・種の保存、動物の福祉・愛護に配慮した、より質の高い動物園運営

②円山動物園運営に関する様々な歪み

- ・連続動物死亡事案
- ・不適正な契約事務



(スケジュールイメージ: 計画期間等)

	H27年度以前	H28年度	H29年度	H30年度～
円山動物園基本構想		現構想: H19～		ポスト構想: H30～(予定)
円山動物園基本(実施)計画		現計画: H19～H28		H31～(予)

年度別来園者状況

資料3-1

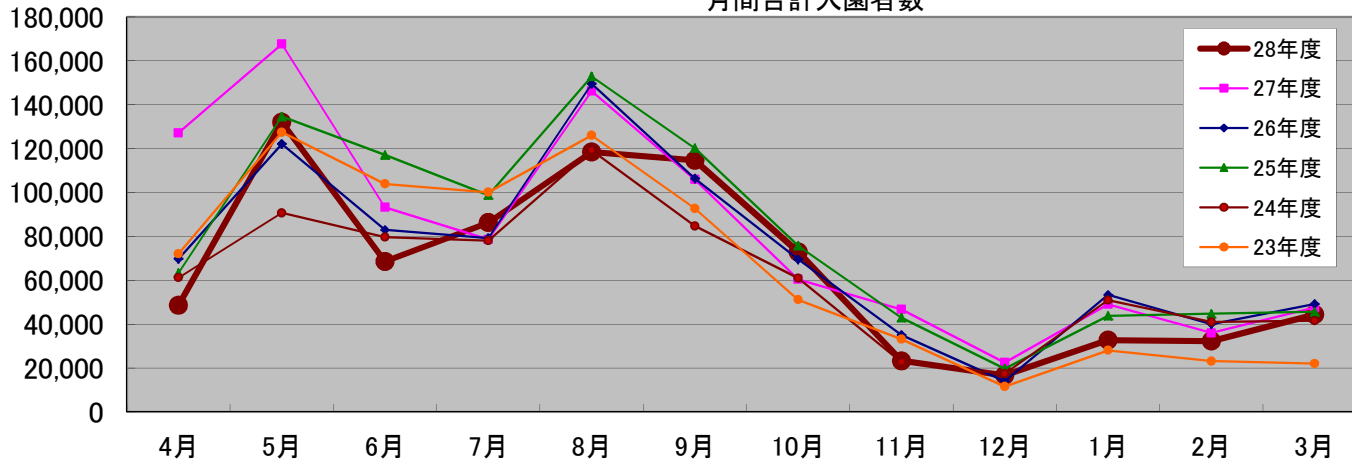
◆月別合計入園者数比較

※夜間、後納分を含む。

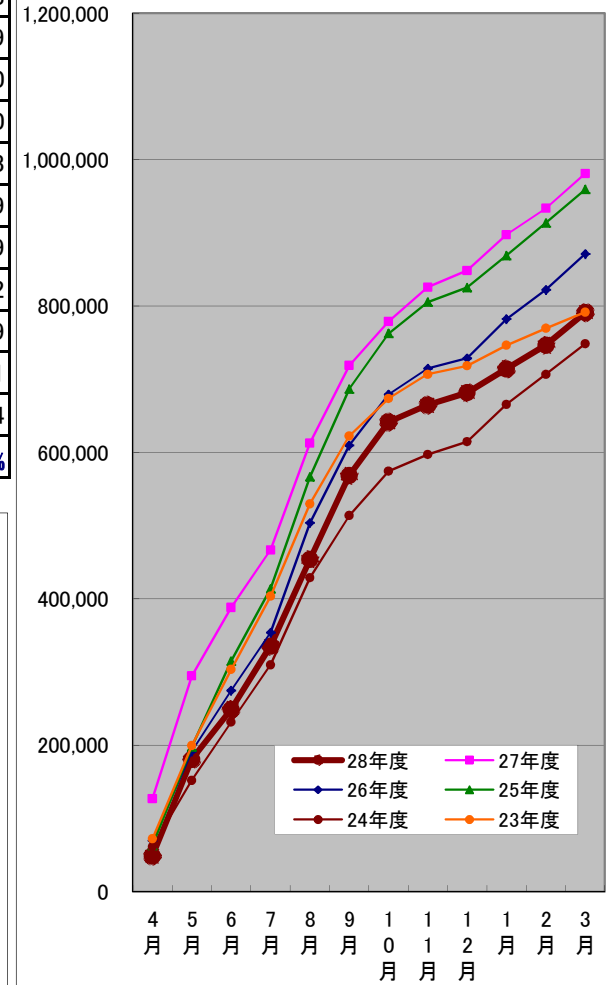
◆累積グラフ

月計	28年度	27年度	26年度	25年度	24年度	23年度	累計	28年度	27年度	26年度	25年度	24年度	23年度
4月	48,625	127,120	69,728	63,370	61,201	72,066	4月	48,625	127,120	69,728	63,370	61,201	72,066
5月	132,017	167,599	122,124	134,584	90,717	127,432	5月	180,642	294,719	191,852	197,954	151,918	199,498
6月	68,591	93,286	82,960	117,092	79,708	103,931	6月	249,233	388,005	274,812	315,046	231,626	303,429
7月	86,263	78,626	79,250	98,812	78,076	100,141	7月	335,496	466,631	354,062	413,858	309,702	403,570
8月	118,414	146,182	149,537	152,823	119,222	126,030	8月	453,910	612,813	503,599	566,681	428,924	529,600
9月	114,674	105,958	106,375	120,151	84,731	92,733	9月	568,584	718,771	609,974	686,832	513,655	622,333
10月	72,941	60,403	69,560	75,758	60,943	51,146	10月	641,525	779,174	679,534	762,590	574,598	673,479
11月	23,325	46,728	35,106	42,884	22,735	33,220	11月	664,850	825,902	714,640	805,474	597,333	706,699
12月	16,760	22,530	14,027	19,729	17,388	11,613	12月	681,610	848,432	728,667	825,203	614,721	718,312
1月	32,715	49,097	53,429	43,829	50,974	28,127	1月	714,325	897,529	782,096	869,032	665,695	746,439
2月	32,303	36,021	40,055	44,759	41,065	23,202	2月	746,628	933,550	822,151	913,791	706,760	769,641
3月	44,396	47,569	49,129	45,640	41,561	22,113	3月	791,024	981,119	871,280	959,431	748,321	791,754
合計	791,024	981,119	871,280	959,431	748,321	791,754	前年度比	80.6%	112.6%	90.8%	128.2%	94.5%	95.1%
H17比		199.9%	177.5%	195.4%	152.4%	161.3%							

月間合計入園者数



累計入園者数



平成 29 年度 予算等概要

(1) 歳入

(単位: 千円)

科目	29 予算	28 予算	予算増減	備考
合計	299,847	308,956	▲9,109	
入園料	263,466	274,094	▲10,628	入園者 1,000,000 人
売店使用料	10,531	10,440	91	売店設置使用料
傷病鳥獣保護費	630	630	0	道委託金
寄附金	12,813	12,082	731	
広告料	4,895	3,938	957	
その他	7,512	7,772	▲260	売店光熱水費等

(2) 歳出

(単位: 千円)

小事業名	29 予算	28 予算	増減	備考
合計	3,496,734	1,898,830	1,597,904	
動物園運営管理費	560,334	530,130	30,204	
動物園運営管理費	558,834	528,730	30,104	
動物園経営費	551,934	521,530	30,404	
動物園教育普及事業費	3,000	3,000	0	
円山動物園観光誘客事業	3,900	4,200	▲300	
野生動物復元事業費	1,500	1,400	100	
北海道の野生動物復元推進事業費	1,500	1,400	100	
動物園整備費	2,936,400	1,368,700	1,567,700	
動物園整備費	189,000	51,900	137,100	
園内小規模整備費	140,000	39,700	100,300	
熱帯動物館解体工事費	0	0	0	
高齢者・障がい者に優しいハートフル園路整備費	40,000	8,500	31,500	
野外彫刻修復移設事業	9,000	3,700	5,300	H28 正門ロータリー整備事業
動物園基本計画事業費	2,747,400	1,316,800	1,430,600	
ホッキョクグマ・アザラシ館建設費	827,400	909,600	▲82,200	
アフリカゾーン開業準備事業費	0	20,000	▲20,000	
類人猿館改築費	0	20,000	▲20,000	
アジアゾウ導入費	23,000	69,200	▲46,200	
ゾウ舎建設費	1,897,000	298,000	1,599,000	
カンガルー館改修費	0	0	0	

* 平成 28 年度予算は補正を含む。

* 平成 29 年度の主要事業として、アジアゾウ導入に向けた国内初となる屋内プールを有するゾウ舎の建設に本格的に着手する。

また、秋には国際的な基準を満たすホッキョクグマ・アザラシ館が竣工予定であり、来春のオープンを目指す。

その他、園内整備の一環として、園内の通路の陥没を解消するため勾配の均一化を図り、老朽化した給水管を更新する「高齢者・障がい者に優しいハートフル園路整備事業」や正門ロータリーに設置している彫刻「よいこつよいこ」を修復し移設する「野外彫刻修復移設事業」等を予定している。

**「マレーグマ『ウッチー』の死亡事案に係る改善計画（中期的課題）」
に対する提言書の検討進捗状況について**

項目	提言内容	進捗の状況
I 組織強化のあり方	① 獣医療を複合的に担う専門的な組織を新たに設けるべきである。	① 獣医療体制の強化を図るため、平成 28 年度から獣医師で構成される動物診療担当課（課長職 1 名、係長職 1 名、一般職 3 名）を新設した。
II 人材確保・育成のあり方	② 受験資格について、現在の「高校卒業以下」から「高校卒業以上」に変更にするなど、飼育員を希望する者に対して、現状よりも広く門戸を開くべきである。	② 「動物専門員」を新設し、受験資格を「高校卒業以上」とした。 ■ 「動物専門員」の受験資格（学歴要件） ・ 大学、高等専門学校、専修学校において、動物に関連する課程・学部・学科を卒業・修了もしくは卒業・修了見込みの者。 ・ 高校を卒業している者もしくは卒業見込みの者で、日本動物園水族館協会加盟の動物園または水族館において、2 年以上の飼育業務の職務経験を有する者。
	③ 動物飼育員の職を現在の「現業職員」から「一般職員」に変更すべきである。	③ 「動物専門員」の職種を「一般職（技術職員）」とした。また、同職への転任試験を平成 28 年～30 年度の 3 年間実施したうえで、合格者を「動物専門員」に転任させ、平成 31 年度以降の動物飼育展示業務は、「動物専門員」が行うものとする。 ※転任試験の結果、平成 29 年度は、7 名の「飼育員」が「動物専門員」に転任した。
	④ 飼育員の増員を検討すべきである。	④ 平成 29 年度に「動物専門員」を 3 名採用した。 ※平成 30 年度も「動物専門員」を採用する予定。
	⑤ 中長期的な視点に立った人材育成プログラムを整備すべきである。	⑤ 高い知見の収集や新しい技術の修得・蓄積が行われるよう、園内のみならず、国内外の他園館での研修実施や学会、研究会の参加等により、職員の育成を積極的に実施している。
III 開園時間又は休園日のあり方	⑥ 開園時間については、一定程度の短縮を図るべきである。 あわせて、現在の冬期間（11 月から 1 月）については、より適切な時期に延長するよう、見直しを図るべきである。	⑥⑦ 動物舎の安全点検や職員の情報共有の拡充など、開園準備を万全に整えるため、平成 28 年 4 月から開園時間の短縮及び休園日を増加した。 ■ 開園時間 3 月 1 日～10 月 31 日 09:30-16:30 11 月 1 日～2 月末日 09:30-16:00 ■ 休園日 毎月第 2、第 4 水曜日（祝日の場合は翌日） 4 月第 3 週の月～金曜日 11 月第 2 週の月～金曜日 12 月 29 日～31 日
	⑦ 休園日については、現状に加え、一定程度の増加を図るべきである。	

主な新着動物・出産の状況

月 日	内 容
平成 28 年 11 月 17 日、23 日	ヒラセガメ 3 頭孵化
12 月 7 日	ヒラタヤマガメ 5 頭入園（密輸個体保護）
12 月 18 日	リスザル 1 頭繁殖
平成 29 年 3 月 18 日	オグロプレーリードック 4 頭繁殖
3 月 31 日	オグロプレーリードック 5 頭繁殖
4 月 12 日	オオワシ 1 羽孵化
4 月 21 日	イヌワシ 1 羽孵化

主な転出動物・死亡の状況

月 日	内 容
平成 28 年 10 月 21 日	スローロリス 雄 1 頭搬出（安佐動物公園）
10 月 28 日	スローロリス 雌 1 頭搬出（東山動物園）
10 月 29 日	ボルネオオランウータン 雄 1 頭死亡
11 月 18 日	ニホンザル 雌 1 頭死亡
12 月 4 日	ムツオビアルマジロ 雌 1 頭死亡
12 月 27 日	ニホンザル 雌 1 頭死亡
平成 29 年 1 月 5 日	リスザル 雌 1 頭死亡
1 月 6 日	ハイイロカンガルー 雌 1 頭死亡
1 月 24 日	ニホンザル 雌 1 頭死亡
1 月 24 日	モモイロペリカン 雌 1 羽死亡
3 月 10 日	コツメカワウソ 雌 2 頭搬出
3 月 21 日	ニホンザル 雌 1 頭死亡
3 月 27 日	モモイロペリカン 雄 1 羽死亡
4 月 3 日	キュウカンチョウ 雄 1 羽死亡
5 月 8 日	テナガザル 雌 1 頭死亡
5 月 24 日	マレーバク 雌 1 頭搬出（群馬サファリパーク）